



2020年2月8日 土



13:00～16:30
(12:30～受付)

会場：柴崎学習館(立川市柴崎町2-15-8)

精神障がいのある親と 子どもの支援を考える 学習会

株式会社 円グループ

共 催 立川市 福祉保健部 障害福祉課

精神科訪問看護を開設し、精神疾患を抱えながら子育てをしている母親とその子どもたちとの出会いは、訪問看護という個別支援のみではなく、グループでの対応ができないかと思い、2008年に八王子市でMCG(Mother Child Group)事業を4年間行ってきました。今回は、PCG(Parents Child Group)事業の報告と夏苺先生の講演と様々な当事者の立場からのシンポジストを迎えてのシンポジウムを通し、精神障害のある親と子どもたちの支援について一緒に学びたいと思います。

■内容

●夏苺郁子先生 講演

(詳細は裏面をご確認ください)

●PCGとは

プレPCG お母さんの声

●シンポジウム

コーディネーター：

向山晴子氏(中野区保健所所長)

シンポジスト：

夏苺郁子先生

PCG当事者メンバー

こどもぴあ 支援者

■お問い合わせ先

株式会社 円グループ
(PCG担当 清水・井原)

〒190-0011
東京都立川市高松町1-17-20
粕谷ビル2階

Tel.042-548-3562

Fax.042-540-6552

情報保障が必要な方はご連絡ください

人は、人を浴びて人になる

～統合失調症の母親をもつ精神科医の話から～

講師紹介

夏苺 郁子先生（精神科医）



北海道札幌市生まれ。

1981年浜松医科大学医学部卒業。同精神科助手、共立菊川病院、神経科浜松病院を経て、2000年やきつべの径診療所を開設。

児童精神科医（子どものこころ専門医機構 認定専門医）、医学博士、精神保健指定医、日本精神神経学会専門医、日本児童青年精神医学会認定医、日本統合失調症学会会員、日本うつ病学会会員、日本疫学会会員

著書 人は人を浴びて人になる（ライフサイエンス出版）
心病む母が遺してくれたもの（日本評論社） 他

論文「家族として、当事者として、そして精神科医として—日本精神神経学会の皆様へお伝えしたいこと」精神神経誌. 第117巻第3号



「精神科担当医の診察態度」を患者・家族はどのように評価しているか—約6,000人の調査結果とそれに基づく提言—精神神経誌. 第120巻第10号 他

開催日時 2020年2月8日（土）

お申込み 事前申込み不要 ※先着順

開催場所 柴崎学習館（東京都立川市柴崎町2-15-8）

参加費
無料

会場について



WEB

会場までの経路につきましては
下記QRコードからご確認ください



多摩モノレール・立川南駅から徒歩7分
コンクリート打ちっぱなしの建物です